

子どものけいれん どう対応すればいい？

株式会社日立製作所 日立総合病院
看護科 小児救急看護認定看護師

けいねん



けいれん

緊急性のあるけいれん

- けいれん時の体温が 38°C 以下
- 5分以内のけいれんを繰り返す
- 初めてのけいれん
- 生後6カ月未満
- 6歳以上



けいれん

- ☐ けいれんが5分以上止まらない
- ☐ けいれんを何度も繰り返す
- ☐ けいれんが止まって、呼びかけても反応が鈍い（視線が合わない）
- ☐ くちびるが紫色で呼吸が弱い
- ☐ 生後6ヵ月未満

当てはまる

すぐに救急車で受診

1つも当てはまらない

- ☐ 生まれて初めてのけいれん
- ☐ 体温が38℃以上である
- ☐ けいれんが左右対称ではない
- ☐ 部分的にけいれんする

1つ以上当てはまる

救急外来受診

1つも当てはまらない

昼間にかかりつけ受診

観察するポイント

- けいれんの持続時間
- 白目をむいていたか
- 顔色やくちびるの色
- 視線は合うか
- 発熱のあり、なし
- 嘔吐のあり、なし



けいれん時の対応

- ①安全な場所に寝かせる
- ②衣類やおむつを緩める
- ③窒息しないように体を横に向ける
- ④けいれん時間を計る
- ⑤5分以上続くときは救急車をよぶ



やってはいけない事

けいれん中に口の中に物や指を入れない

ゆすったり、たたいたりしない

意識が回復するまで、飲み物や食べ物をあげない



子どもの元気を示す
3つのサインとは？



大切なことは・・・

寝る



遊ぶ



食べる



3つができているか？

「寝る・遊ぶ・食べる」ができていれば
あわてて受診しなくても大丈夫

お家でゆっくり休むことも
大切な治療です

